

**製品名: NDUFA3ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14497**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFA3
別名	NDUFA3; NADH dehydrogenase [ubiquinone] 1 alpha subcomplex subunit 3; Complex I-B9; CI-B9; NADH-ubiquinone oxidoreductase B9 subunit
遺伝子 ID	4696.0
SwissProt ID	O95167
免疫原	抗血清はヒト NDUFA3由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 34-83

**背景**

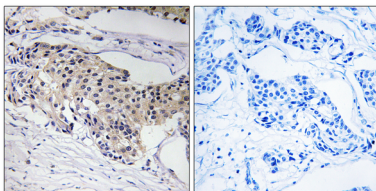
機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニット。触媒作用には関与しないと考えられています。

複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。、  
類似性: 複合体I NDUFA3サブユニットファミリーに属します。、サブユニット: 複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH脱水素酵素 (複合体I) の補助サブユニット。触媒作用には関与しないと考えられています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。、類似性: 複合体I NDUFA3サブユニットファミリーに属します。、サブユニット: 複合体Iは45の異なるサブユニットで構成されています。、

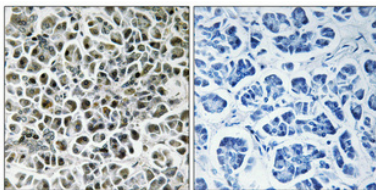
## 研究分野

酸化リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

## 画像データ



NDUFA3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



パラフィン包埋ヒト膵臓の免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。